

なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和7年 第4回・第5回臨時会

第4回臨時会が10月31日に、第5回臨時会が11月26日に開かれました。

議会だより目次

★臨時会可決議案一覧	10 P
★議会のあり方研究特別委員会 住民懇談会の報告	11 P
★リニア新幹線対策特別委員会	12 P
☆国会議員及び 関係機関への要望活動	12 P
☆国有林対策特別委員会	13 P
☆木曽南部土砂防災ネットワーク 議員連盟総会	13 P
☆松塩筑木曾 老人福祉施設組合議会報告	14 P
☆木曽広域連合議会報告	14 P

第4回・第5回臨時会可決議案一覧

○：賛成 －：棄権
×：反対

第4回臨時会		山下	藤原	伊藤	近藤	矢澤	松原	坂本	山崎	高橋
●令和7年度坪川橋災害復旧工事請負契約の締結について	契約金額：64,020,000円（税込） 契約の相手方：大宗土建株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●令和7年度南木曽町総合グラウンド照明LED化改修工事請負契約の締結について	契約金額：54,780,000円（税込） 契約の相手方：ミリオン電工株式会社 飯田営業所	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第5回臨時会										
●事故の和解及び損害賠償額の決定について	地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、事故による損害について和解し賠償するものです。									
●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じて一般職の職員の給料表を改正し、期末手当及び勤勉手当を年0.05月分引き上げなどをするものです。									
●特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	特別職の国家公務員の給与改正に準じて、特別職の職員で常勤の者の期末手当を年0.025月分引き上げるものです。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●南木曽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	特別職の国家公務員の給与改正に準じて、町議会議員の期末手当を年0.025月分引き上げるものです。	○	－	○	○	○	○	×	○	○

住民懇談会の報告

住民24名が参加

10月8日(水)午後6時30分より南木曽会館ホールにおいて、託児所を設けて住民懇談会を開催しました。町内各所から24名の参加があり、3班に分かれての活発な意見交換となりました。

会場で頂戴したさまざまなご意見・ご質問・ご要望等を集約して掲載させていただきます。

人口問題

- ・アイデアを募集して2050年に輝く町づくりを

町づくり

- ・総合的に支援出来る体制が必要
- ・町は良い場所という認識が持てるように

若い世代の声

- ・こうした話し合いの場に若い世代の参加が少なく、将来を共に考える機会が十分に生まれていません
- ・中・高校生の意見をもっと聞いている

出産の環境

- ・木曽で子どもが産めない
- ・「この町で子どもを産んで育てて欲しい」と言えない環境になっている
- ・子育てしやすい医療環境を

子育て支援

- ・実家が無い人達が困った時に助けてくれる場所が要る
- ・地域で子どもを育てる繋がりがある

福祉

- ・介護職員、介護士が住むところが必要。住宅の整備を
- ・障がい者が生きやすい町に

教育・文化

- ・天白公園に計画の中木製遊具については、どのような議論がされたのか。全体を覆う屋根の設置を望む
- ・図書館を作ってほしい。
- ・戦後80年、満蒙開拓団の証言など少なくなるので記録を残してほしい

議会…議会のテレビ放送の時間を増やせないか

内容につきましては12月議会から徐々に議会へ反映していくことを話し合っておりますので、議会だより・ケーブルテレビ放映等でご覧いただければと思います。また住民の皆様からのご意見、ご要望は随時伺いしております。

大変有意義な懇談会になりましたことに感謝申し上げます。
文責：伊藤寿子委員長

空き家の活用

- ・民泊などの活用は良いが町への効果や、地域住民とのつながりも必要

地域振興…特産品を考えては

観光

- ・マナー：観光客の自動車の逆走などの交通違反も見られ、地域住民に危険な状況もある
- ・町の魅力：「谷の町」の玄関口として立体感があり、他にない、ここにしか出せない魅力がある
- ・案内看板の整備を
- ・日帰り温泉が欲しい

“足”の確保

- ・現金を引き出すためにもタクシーなどを利用せざるを得ず、その費用負担に困っている
- ・バスの運行時間と電車の時間との連携が悪いので見直してほしい

生活環境整備

- ・小規模水道の今後の維持管理について各組合同士で情報交換や課題共有を行う場があってもよいのではないか
- ・集会所にエアコンを付けてほしい
- ・地域で増え続けるネコの不妊化手術の実施と、適切な頭数管理等のために手術費用への補助金を望む
- ・クマ対策をお願いしたい

地域の支え合い

- ・地区の役員をやる人がいない。回すのも大変
- ・敬老会にも出てこれない。住民の横のつながりをもっと増やしたらどうか
- ・まだまだ元気なシニアの人達に地域の応援システム的な仕組みを考えてほしい

参加者アンケートから

- 参加者がそれぞれ意見を出して話し合うことが出来てよかった。町内にいろいろな問題があることを知り、皆さん同じような問題意識を持っていることがわかりました。いい会でした。
- 日頃住民の代わりに国などいろいろなことを代わっていただけていることがわかりました。いままでできることなど、何が出来るかをしっかり見て活動していただけると嬉しいですね。(50代女性)
- 自分の地域、どんなに好きなのかよくわかりました。守りたいことがわかりました。(20代男性)
- 日頃思っていることを伝えることができた。できないとあきらめてしまいう前に何が出来るかアイデアを出す場、それをくみ取っていただく場がもっと欲しいです。(50代女性)
- 今回初めての参加でした。日頃町民の皆さんの声を聴くときがなかったので大変興味ある話し合いで、直接議員の方に話が出来る面白かったです。
- もう少し会の時間が欲しい。日中の開催も検討を。地区別に懇談会は出来るか。(70代男性)
- 年に一回でなく、時々やって欲しい。(70代女性)
- 様々な意見を生の声で聞けたことがよかった。もっと人が集まるかと思ったが、参加者が少ないのが残念。(60代男性)
- 進行がスムーズでみんな発言が出来たが、本日の開催の宣伝が足りない。(70代女性)

報告 リニア新幹線対策特別委員会

中津川市議会との合同会議

10月31日(金)に中津川市リニア対策特別委員会との合同会議を開催しました。

【現地視察】

尾越工区のトンネル掘削現場で、J R東海および鉄道運輸機構から説明を受けながら工事の進捗状況を視察しました。

非常口トンネルから250m入った地点で名古屋と品川両方面に向かう本坑と三叉路に交わり、本坑トンネルは勾配40/1000で岐阜県側に一様に傾斜しています。坑内の整頓の良さや非常口トンネルが万が一の際に避難経路となることを確認しました。非常口から少し入ったところには「風路トンネル」という換気のトンネルを別途2~300m程設けるとの説明もありました。

掘削・運搬作業を中断しての視察時間の確保に対し、関係者に感謝したいと思います。

【合同会議】

協議事項 (1)両市町の活動状況

○南木曽町 (山崎委員長)

・令和6年11月1日の合同会議以降、第47回まで対策協議会を開催しており工事の進捗状況や水道水源の観測状況、発生土運搬などについて協議してきていること、議会のリニア特別委員会は対策協議会の開催前に開催し協議会資料の事前説明を受けて意見交換と集約を行ってきていることなどを報告しました。

○中津川市 (勝委員長)

・中津川市特別委員会の活動としては、独自の委員会のほか、濃飛横断道・三市一村(郡上市・下呂市・中津川市・東白川村)合同会議、中津川市・恵那市議会リニア関連懇談会、飯田市との懇談会などを開催し意見交換してきていることの報告がありました。

協議事項 (2)両市町の動向について

○南木曽町 (各担当部署)

・リスク軽減の取組みとして、これまで対策協議会を47回開催し、各工区の進捗状況、観測井

による地下水位の動向、取水量の状況、協議書の協議などを行った。

- ・9月末時点での工事進捗状況として、尾越工区では斜坑247mが完了し、本坑約530m、路盤完了予定は2029年冬頃。広瀬工区は斜坑510m、路盤完了予定2030年冬頃。山口工区は県境から370m入り、妻籠水源まで約1.4kmのところまで来ている。
- ・発生土は町内外の公共・民間事業に活用されている。町内の発生土置場として、尾越で9万m³のほか、押出北、長者畑、十二兼などが候補地になっている。
- ・水道水源予備的措置に関しては、向ヶ原・大山高区から妻籠水源への給水が令和5年に完了し、さらに向ヶ原・大山高区の減温水に対応するための代替え水源等の設置をし、予備的措置は令和7年8月に完了した。
- ・リニア効果を活かすための取組みとして、町では「リニア活用検討委員会」、商工会では「リニア新幹線を活かした地域づくり委員会」を設置し協議を重ねている。

○中津川市 (各リニア担当部署)

- ・リニア関連事業として、市内各地の道路網、岐阜県駅周辺、駒場トンネル、第二木曽川橋梁、瀬戸トンネル、第一木曽川橋梁、中央アルプストンネル山口工区の進捗状況など、図面や写真を用いた説明があった。
- ・開業に向けたまちづくり計画や、濃飛横断道中津川工区の道路整備、駅周辺の区画整理事業の説明があった。
- ・神坂スマートインターチェンジが完成し、中央高速道から馬籠宿や木曽路方面へのアクセスが向上したこと、今後スマートインターから馬籠宿までの自動運転バスの実証実験が行われることが説明された。

報告の後、意見交換が行われ、今後もこの会議が継続されることが確認されました。

文責：山崎隆二 リニア新幹線対策特別委員長

報告 国会議員及び関係機関への要望活動

11月12日(水)から13日(木)にかけて南木曽町議会として南木曽町の行政に資することを目的に国関係省庁・関係機関への表敬訪問と要望活動を行いました。

12日は後藤茂之議員を始め長野県関係議員、国土交通省(砂防部・道路局)と厚生労働省(保険局・医政局)への表敬訪問及び要望活動を行いました。

13日は砂防協会と砂防フロンティアへの表敬訪問をし、全国治水砂防促進大会に参加しました。その中で「『いのち』と『くらし』と『なりわい』を守る砂防」と題して土砂災害の現状とその対応について国土交通省國友砂防部長の特別講演がありました。

今回、改めて要望活動の大切さと土砂災害に対する認識を深めた中央要望活動でした。

文責：近藤 隆 議会運営委員長

報告 国有林対策特別委員会

11月17日(月)、木曽森林管理署南木曽支署と現地視察及び意見交換会を行いました。

現地視察は、南蘭国有林の製品生産事業地では林齢94年生のヒノキの間伐で120年の長期伐期予定地とのことです。ムクリ沢林道災害復旧工事では補強土壁工（ジオセル積工）という珍しい工法を見ることができました。普段入ることのできない国有林内の現場を視察させていただき大変参考になりました。

南木曽支署での意見交換会では、主に令和7年度の事業について説明をいただき、議員から多くの質問等が出され有意義な会となりました。

森林管理署の皆さんには、お忙しい中を現地視

察や事業説明をしていただきありがとうございました。

(主な質疑応答)

Q 獣害状況及び対策は。

A 熊の皮剥ぎやカモシカによる食害が多いためそれぞれの対策を行っている。

Q 今年熊の出没が多いが職員の対応は。

A クマ除けスプレースの携行とベルを鳴らしながら複数の職員で現場対応を行っている。

文責：近藤 隆 国有林対策特別委員長



報告 木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会

10月6日(月)、上松町ひのきの里総合文化センターにおいて木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会が開催されました。

南木曽町・上松町・大桑村・王滝村の議員が出席し、来賓として国土交通省、全国治水砂防協会、参議院議員杉尾秀哉氏のほか、多くの皆様に出席いただきました。

総会では、令和6年度事業報告・収支決算報告と令和7年度事業計画・収支予算、役員改選などが審議されました。

令和7年度事業計画では、連盟独自の要望活動

などを決定しました。また会長には大桑村議会鈴木武議長、副会長には上松町議会永井嘉男議長と南木曽町議会早川親利議長を全員一致で承認しました。

講演会は、国土交通省水管理・国土保全局砂防部長の國友優氏による「『いのち』と『暮らし』と『なりわい』を守る砂防」、全国治水砂防協会副会長の岡本正男氏による「砂防アラカルト」、国土交通省多治見砂防国道事務所長の熊澤至朗氏による「木曽南部地域における直轄砂防事業」でした。



國友優氏



岡本正男氏



熊澤至朗氏

報告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

11月25日(火)に開催された11月定例会の主な内容は次の通りです。

●令和6年度一般会計歳入歳出決算

歳入合計：43億8,021万5,096円

歳出合計：42億4,255万1,764円

差引額：1億3,766万3,332円

翌年度へ繰り越すべき財源：0円

実質収支額：1億3,766万3,332円

財政調整基金から2億8,000万円を繰り入れて黒字になっていますが赤字です。実質単年度収支は、2億1,322万円の歳出超過となります。

●令和7年度一般会計補正予算（第1号）

1億8,700万円増額して45億8,700万円となりました。施設見込利用者のサービス収入の見直し及び人事院勧告に伴う人件費増、施設の維持管理に特に緊急を要する経費が主な理由です。

全員協議会

(1)組合施設の再編の決定について

令和9年度に四賀福寿荘、なんてんの里の2施設を廃止することに決まりました。

(2)組合施設の民間活用に係るアンケート調査結果について

発送件数130民間事業者

回答結果 移管に関心がある・話は聞いてみたいと回答した事業者は11事業者

(3)組合施設の移管・移譲に係る民間事業者ヒアリングについて

ヒアリング事業者 11事業者

ヒアリング概要

- ・事業者が移管を受ける共通の前提条件：労働者を含めた条件。施設の長寿命化や整備などの協議を要する。
- ・事業者の経営意識：移管を受けるにあたっては法人として持続可能な経営を考慮して判断。
- ・事業者の特徴：安定した経営基盤を基に、それぞれの特徴を活かした運営をしているか。ほか5案件

矢澤和重議員の発言

- ・事業者とのヒアリングをする中で、今後どのような運営体制を検討しているのか。またセーフティーネットの役割を全て民間事業者に移行することは厳しいと判断しているが、今後の運営をどのように計画しているのか。

→組合からの回答 施設ごとにどのような運営で継続できるのか、構成市町村と課題を共有し、セーフティーネットの一翼として、できる限り特養事業を持続可能とする検討をしていきたいと考えています。

要望 松塩筑木曾老人福祉施設組合の第六次基本計画の内容は、全ての内容について良いと判断できるものではないと考えています。これまでのセーフティーネットの役割をどのように担保していくのか。また、これを構成市町村としても考えるかという点を踏まえた中で、今後の運営計画をしっかりと考えてセーフティーネットを守っていただけるような計画を望みます。

文責：矢澤和重 議員

報告 木曾広域連合議会

11月28日(金)に第4回定例議会が開催されました。主な内容は以下の通りです。

- 王滝村議員選挙と木曾町議員選挙が行われたことにより、下出議長、薩川議員、大目議長、下島議員、原田議員、松井議員、榎本議員、児野議員が選出され議席が指定されました。なお木曾広域連合長には南木曾町向井町長、副連合長には王滝村越原村長が就任されました。

●木曾広域連合条例の改正

- ・人事院勧告に伴う関係条例の整備
- ・火災予防条例の一部改正

●令和7年度一般会計補正予算（第3号）

3,942万円増額し、総額36億7,367万円となりました。人事院勧告に基づく人件費の増が主な要因です。

●令和7年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

1,022万円減額し、総額41億3,027万円となりました。介護保険システム改修委託料の精査により町村負担金を減じました。

●令和7年度下水道事業会計補正予算（第1号）

9万9千円増額し、総額9,457万円となります。人事院勧告に基づく人件費の増です。

全員協議会

- ・長野県の木曾広域連合への参画について
- ・火災予防条例の一部改正について
- ・木曾病院の小児科体制について

文責：高橋進 議員